

梨地農POの効果確認試験



(椿さん)慣行区 2.26撮影



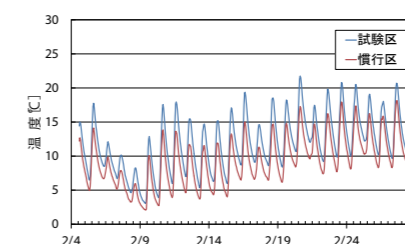
(椿さん)試験区 2.26撮影



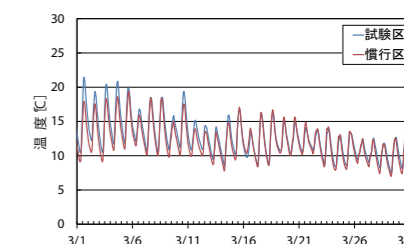
(椿さん)慣行区 4.15撮影



(椿さん)試験区 4.15撮影



試験区の様子 5.17撮影



試験区の様子 5.17撮影

試験目的

散乱光POフィルムのトンネル用途における実用性確認試験

試験作物
及び品種

レタス

試験資材
及び数量(規格)

カゲナシ5(0.075mm×460cm×55m) 2枚

慣行資材

農ポリ等(0.05mm×420cm×100m等)

栽培方法

定植日

慣行区:1月20日頃
試験区:1月20日頃

資材使用期間

1月下旬～4月上旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業は、慣行品よりも厚みがある分重かった。また、タタミである分勝手が異なったが、さほど負担にはならなかった。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

試験区の方が生育が良く、早期収穫することができた。また、大きい規格(L規格)が非常に多くなった。一部、トンネル使用初期の温度が高く、結球しないものがあつたので、生育管理には注意が必要である。

(3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 保温性が高いため、生育促進が見込まれる。また、散乱光の効果によりトンネル内の生育が均一になることが期待できる。

【問題点】: 厚みの分と、POフィルムであるため価格が高い。

(4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

POフィルムのため裂けにくく、農ポリや農ビよりも劣化しにくい。

モニター感想

(佐藤部会長)保温性が高く、非常に生育が良くなった。多少、価格が高くても十分メリットはあると考える。ただし、レタス栽培においてはトンネル内温度が高くなり過ぎて一部結球しないものもあつたため、管理には注意を払わなければいけない。部会として推奨するには、再度試験を行って検討したい。また、厚みのある分重いのはデメリットである。流滴性に差は感じなかった。

(椿さん)生育が早く、L等の大きな規格のものが増えた。また、散乱光による効果と思われるが、トンネル内の収穫期がある程度均一になり、収穫作業がしやすくなった。

JA担当者の感想(経済部 國重次長)

試験品は非常に保温性が高く、生育促進による早期収穫や規格が1つ上がるといったメリットがあつた。ただし、温度が上がり過ぎて結球しないものや、変形球(通称:ラグビー)になってしまうものがあつたので、温度管理は注意が必要と考えている。

基本的には生産者へのメリットの方が大きいですが、試験品は厚みがある分、高価でもあるため、0.05mm厚の安価なトンネル用POフィルムがあると良い。

今後の使用について

継続して使用したい。